

2020年10月30日 第3341回例会

於：メルキュールホテル横須賀『パリ』



<点鐘・開会> 12:30 岡田 会長

<斉唱> 「我等の生業」

<ゲスト紹介> *国際ロータリー第2780地区第1グループ

ガバナー補佐 田邊 一三様

*国際ロータリー第2780地区第1グループ

ガバナー補佐副幹事 渡邊 磨様

*有限会社日栄建設 代表取締役 比護 友一様

<幹事報告> *週報受領 (三浦RC・横須賀北RCより)

*Tour!! Look for Treasure at Peninsula について

<出席報告> *出席委員会 小林(-)委員長より10月30日の出席報告

会員数	出席対象者数	出席数(ZOOM出席数)	欠席数	メグアップ数	出席率
117名	107名	79名(9名)	28名	10名	81.65%

<ニコニコ報告>

- ・RID2780 第1グループガバナー補佐 田邊一三 本日は第1グループガバナー補佐として参りました。お話させていただきます。宜しくお願ひ致します。
- ・三 役 RID2780 第1グループガバナー補佐 田邊一三様、本日の卓話よろしくお願ひ致します。
- ・勝間、猿丸、梁井、Loknath、八木、松本(働)、木村、若松、小山(働)、田村、上林、福西、小沢、高橋(働)、小佐野、後藤、瀬戸、中山、小平、角井、波島、谷、鈴木(働)、高橋(働)、山下、澤田、石田、鈴木(働)、藤村、前田、長尾、伊藤、長坂、江沢、平松、小林(-)、齋藤(働) 各会員
国際ロータリー第2780地区第1グループガバナー補佐 田邊一三様、本日の卓話楽しみにしています。
- ・小林(働) 会員 誕生月祝いとして
- ・平松 会員 入会月祝いとして
- ・三 役 高橋秀行会員、上林会員、波島会員、徳永会員、村瀬会員、長寿会員表彰おめでとうございます。長尾会員メジャードナーLevel3表彰おめでとうございます。
- ・畑、勝間、大石、田中、臼井、勝見、福西、瀬戸、北村、佐久間、飯塚、高橋(働)、澤田、石田、山下、前田、伊藤、三堀、小山(働)、齋藤(働) 各会員
高橋秀行会員、上林会員、波島会員、徳永会員、村瀬会員、長寿会員表彰おめでとうございます。長尾会員メジャードナーLevel3表彰おめでとうございます。横須賀RCの誇りです。
- ・徳永 会員 長寿表彰ありがとうございます。
- ・加藤(働)、川出、長尾 各会員 来週のオープントップバスツアー、台風が来ないことを祈っています。
- ・岡田、小山(働) 両会員 70周年記念ビデオ撮影は撮り直しすると有料となります。

《第1回クラブ協議会》(地区大会報告)

岡田 会長

本来、地区大会は会員全員参加で、例会を通して何名かに発表をしてもらい第1回クラブ協議会とするのですが、今年はコロナ禍の為人数が絞られた2時間弱の地区大会でしたので私から報告をさせていただきます。

10月18日(日)鎌倉芸術館にて開催され、横須賀からは会長、幹事、小沢元RI理事、小佐野PG、田邊ガバナー補佐、中村(働)会員で出席をしてまいりました。

14時の点鐘・開会の言葉で始まり、国歌・ロータリーソング演奏、物故会員への黙祷と続けました。非常に悲しいことですが横須賀は5名の方のお名前を読み上げられました。昨年亡くなられた皆様とはカウンセラーをお願いしたときなど、「例会には出られないが何かあったらいつでも相談をしてください。」などと励まされたりしていましたので、元気な姿をお見せしたかったと思いながら黙祷をささげさせて頂きました。その後、鎌倉RC宮本会長からの歓迎の言葉、田邊ガバナー補佐による第1グループの紹介、ガバナー挨拶、RI会長メッセージと続けました。RIテーマは、「ロータリーは機会の扉を開く」ですが、まさに、ロータリークラブが存在することで様々な機会をいろいろなところで、提供していると思いました。横須賀RCも今週試験がある財団学生、来週のオープントップバスにアクトを含めた横須賀幼稚園児に体験してもらうなど、蔡さんや先週の元米山奨学生、フィリピンでのVTTまたは私たちのクラブ活動でのお互い会員同士においても「機会の扉が開かれている」と思います。最近、HP、SNSを大いに利用することで機会の扉が大きく開かれていくということも実感していますので継続的に発信していきたいと思いました。その後、新世代メッセージとして私たち横須賀ロータリークラブが提唱しています横須賀ローターアクト、三浦学苑の横須賀インターアクトのビデオが放映され、元気な姿が地区内に伝わったのではないかと思います。その後表彰発表（配布）があり、その後ガバナーエレクト、ノミニーの紹介ののち閉会となりました。

*長寿会員表彰 記念品贈呈 高橋 倫、上 林、波 島、徳 永、村 瀬 各会員

*メジャードナーLevel3表彰 長 尾 会員

<卓 話> 2020-21年度方針 11月13日金曜日 ガバナー公式訪問に備えて

国際ロータリー第2780地区第1グループ ガバナー補佐 田 邊 一 三 様

ただいまご紹介を頂きました国際ロータリー第2780地区第1グループガバナー補佐を仰せつかりました当クラブ所属田邊一三です。RI会長ならびにガバナーの地区方針を先鞭としてお話をさせていただきます。

まずはホルガー・クナーク会長の方針ですが、今年度のテーマは「ロータリーは機会の扉を開く」『楽しむための一番の方法は、協議会や国際大会のような大勢の会議であれ、奉仕プロジェクトや例会であれ、皆が集まること (together) です。集まれば、より活動的になることができます。ロータリーのビジョン声明の最初の一語がこの言葉 (together) であることも、驚くことではありません。』【ロータリービジョンの声明】として『私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています。』



今年度の久保田ガバナーのご挨拶です。「今年度ホルガー・クナークRI会長は、『ロータリーは機会の扉を開く』をテーマに選びました。この数か月の経験を経て一層、この言葉が意味すること、指し示す方向が皆さんもお分かりのことと思います。その扉は無数にあり、その鍵を持っているのは皆さんです。すでに一つ私たちは新しい扉を開きました。まだまだたくさんある扉と一緒に開き、その先にある壮大な世界と一緒に体験しましょう。2020-21年度が、ロータリーにとって、あなたにとって素敵な未来に向けての入口でありますように。」

今年度の久保田ガバナーのご挨拶です。「今年度ホルガー・クナークRI会長は、『ロータリーは機会の扉を開く』をテーマに選びました。この数か月の経験を経て一層、この言葉が意味すること、指し示す方向が皆さんもお分かりのことと思います。その扉は無数にあり、その鍵を持っているのは皆さんです。すでに一つ私たちは新しい扉を開きました。まだまだたくさんある扉と一緒に開き、その先にある壮大な世界と一緒に体験しましょう。2020-21年度が、ロータリーにとって、あなたにとって素敵な未来に向けての入口でありますように。」

久保田英男ガバナーのご紹介をさせていただきます。昭和35年(1960年)11月20日生まれ、職業分類は菓子製造販売、現在の会社での役職は株式会社豊島屋常務取締役でいらっしゃいます。ご家族は奥さまの美登里様。亡くなられたお父さま及び叔父さまもロータリアンでいらっしゃいました。

ガバナーが掲げる地区目標をご紹介します。

1. RI会長テーマおよびビジョン声明・戦略(行動)計画・強調事項の推進

2020-21年度のRI会長テーマ『ロータリーは機会の扉を開く』の意味を考え、それに相応しい活動を期待しています。「ロータリーのビジョン声明」及び「ロータリーの戦略的優先事項」「ロータリーの中核的価値観」の理解と周知をお願い致します。そして、5年後どのようなクラブになりたいかを自問し、会員により多くの価値をもたらす方法を考える為の「クラブ戦略(長期)計画会議」の実施を推奨致します。国際ロータリーとロータリー財団のビジョンを達成する為、今後5年間の活動を方向づける4つの優先事項として、より大きなインパクトをもたらす、参加者の基盤を広げる、参加者の積極的なかわりを促す、適応力を高める、が「ロータリーの戦略的優先事項」として定められました。今日の世界は1905年の世界と同じではなく、人口動態が変わり、変化のスピードが加速し、テクノロジーによってつながりや奉仕の新たな機会が生み出されており、「ロータリーの中核的価値観」として不変なのは、ロータリーを定義づける親睦、高潔性、多様性、奉仕、リーダーシップという価値観に対するニーズとしています。

2. RIロータリー賞への積極的なチャレンジ

ロータリー賞の各項目は、客観的に自クラブを評価できるように設計されていて、クラブの強み弱みを把握できる利点がある為、積極的に活用してクラブを活性化してもらいたい。ロータリー賞は、表彰の為にあるのではなく、目標設定、目標管理にあるので「クラブ戦略(長期)計画会議」を開催し、クラブのみんなが目標を設定するのでもいいでしょう。目標や目的をクラブ内で共有することは、必ず結束を一層強くします。

3. 会員増強・会員維持・クラブ拡大

- ・地区会員数を2021年7月1日時点で、2500人以上に
- ・女性会員比率の向上
- ・新クラブ(衛星クラブ等を含む)の拡大

2020年7月31日現在2780地区は66RC、会員数2288人うち女性会員は266人です。ロータリーは「世界を変える行動人」の集まりで、そこに性差(LGBTQも含まれて当然です)は不要だと思いますし、若い会員にもそう感じます。不必要な形容詞をつけずクラブにとって必要な人材を迎えましょう。

4. 青少年育成の推進

・インターアクト、ローターアクトクラブへの支援及び協力の強化。また、ロータリー賞受賞に向け、指定された項目をクラブで実行するよう奨励する。

- ・インターアクト、ローターアクトの新クラブ拡大(厳しい状況)
- ・RYLA開催(若い世代のリーダーを育成・発掘)(本年度は実施せず)
- ・青少年交換事業の理解と協力(本年度は実施せず)

ロータリーは「同列」「公平」「平等」という立場が明確でありながら、時には若者に寄り添う「兄姉」「親子」「子弟」であり、若者に対して「尊敬」「感謝」を臆すことなく表します。多感な世代の若者にあっては、この距離感での関係とそこで得る経験は、将来において大きな財産になります。

5. クラブの戦略(長期)ビジョン策定の推進

戦略計画を基礎として各クラブでは、今後5年間程度の中期ビジョンを策定しクラブの将来のあるべき姿を描き、その実現に向けての行動計画を立て、その為に戦略計画委員会または長期計画委員会等の委員会を立ち上げ、より活発に活動して頂きたい。単年度ではなく、長期的な計画も必要で、それは大き過ぎず、抽象的ではなく、誰もイメージできることが重要だと思います。一方、小さな成功の積み重ねが大きな目標の達成につながります。未来の成功の為にはただ準備をするだけ、計画を立てるだけでは不十分です。今年度、何を行い、それをどのように実現するか、を考え実行して下さい。

6. 奉仕活動推進のためのロータリー財団への年次寄付

目標1:地区年次寄付50万ドル

目標2:ゼロクラブゼロの継続と全会員寄付の達成

目標3:恒久基金70,000ドル増、年次寄付200ドル/1名、恒久基金1,000ドル以上/1クラブ

年次寄付目標と恒久基金の増額目標は、当地区においての10万ドルの地区補助金原資(3年後)、4名の奨学生排出、毎年1~3件のグローバル補助金事業が可能になるようその為の原資確保です。寄付の大小ではなく各クラブ、全ロータリアンが、ロータリーとロータリー財団の目的と意義を理解し、協力することを目的としています。理解なく寄付するのは、そのお金は十分活かされるとは思いませんので、みんなが進

んで協力する意識を作り上げたいと願っています。当横須賀RCは昨年度セブRCとのVTTのプロジェクトを実行し、3年間に渡り実行されます。昨年9月には開所式に行ってきました。

7. 米山奨学会寄付

寄付目標：5,000万円(20,000円以上/1名) 普通寄付+特別寄付

米山奨学事業ほど日本ロータリーの国際親善に寄与している事業はないかもしれません。この寄付もロータリー財団への寄付と同様、米山奨学事業への理解を第一に考え、日本で学ぶ奨学生の為に気持ちよく協力頂けるように努めていきたいと思えます。寄付目標は、当地区で出せる奨学生数を確実に維持し、一名でも多く輩出できるよう希望を込めており、米山奨学生・米山学友会の学生たちと、積極的に交流して頂けるとありがたいです。昨年7月には米山学友による「第2回世界大会 絆 in モンゴル」に行っていました。

8. ポリオ根絶の推進

- ・ポリオ根絶キャンペーン促進、ポリオデーの実施
- ・ポリオ寄付の推進(目標 100,000ドル(40ドル/1人))

「ポリオはいつ終わるのか」「まだやるの?」「あと少しと言ってから何年?」と言われますが、『1』と『0』では大きな違いがあります。『1』は2にも3にも増え、やがて百千万となる可能性もありますが、『0』は増えることがないのです。その『0』への戦いが続いています。絶対に無理、とあきらめる前に「何ができるか」真剣に考えましょう。私たち日本は1980年代にポリオフリーになりましたが今でも子供達にはワクチン接種が続けられています。それは、この地球上にポリオウイルスが存在するからです。根絶すれば予防接種の手間もコストもなくなり、不安から完全に開放されるのです。クナークRI会長も「私たちは、世界の子供達にポリオを根絶すると約束しました。約束は必ず果たさなくてはなりません」と語りました。約束を果たす為に私たちのできることをしましょう。

9. 『1クラブ1プロジェクト』の継続と奉仕プロジェクト支援

2019-20年度地区方針「1クラブ1プロジェクト」を継続し推奨すると共に、奉仕活動・奉仕プロジェクト実施のクラブ支援体制を整える。2019-20年度第2780地区杉岡芳樹ガバナーは、昨年のPETSで『1クラブ1プロジェクト』の地区目標を掲げられました。とても素晴らしい具体的なアイデアであり、これこそ単年度で終わらせるスローガンではなく継続してこそ、意義があるのではないのでしょうか。2019-20年度に着手できていないクラブも是非英知を結集し、2020-21年度には素晴らしいプロジェクトを創り上げて下さい。「従前より当クラブは持っている」というクラブもステップアップ、グレードアップして頂きたいと思えます。

以上が地区目標9つでございました。11月13日金曜日ガバナーの横須賀RC公式訪問がございました。ひとりでも多くの皆さまにご参加頂けましたら幸いです。本日はご清聴ありがとうございました。

<閉会・点鐘> 13:30 岡田 会長

週報担当 馬場 亮